

ふれっぽ



稚内市立増幌小中学校 学校だより

責任者：校長 畠山 博次

デジタル化が進む今こそ読書を！

校長 畠山 博次



2024年（令和6年）は辰年です。動物にあてはめると竜（龍）ですが、これは十二支で唯一の想像上の動物です。松谷みよ子さんの児童文学『龍の子太郎（たつのこたろう）』に登場しますので、知っている子どもたちも多いと思います。

さて、毎年実施されている全国学力・学習状況調査では、読書の時間について調べています。令和5年度実施の調査では、普段（月曜日から金曜日）、1日に30分以上読書する中学3年生の割合は全国でわずか28.4%でした。あわせて、全く読書をしていない中学3年生が36.8%もいることが分かりました。このように、読書活動の推進は全国的に大きな課題となっています。

読書は子どもたちの情操を豊かにするとともに、言語能力を育む上でひじょうに大切です。本校では、朝読書を日課に位置付けたり、調べ学習で図書室の本を活用したりするなど、子どもたちが本に関わる機会を意図的に設定してきました。

また、現在の学校教育では思考力、判断力、表現力の育成が重視されていますが、これらの育成には言語活動の充実が欠かせません。この言語活動を活性化させる養分となるのが読書です。つまり、読書により言語活動が活性化し、子どもたちの思考力、判断力、表現力の育成につながるわけです。

しかし、読書は学校だけで行うものではありません。読書の場として家庭は重要な役割をもっています。読書が好きな子どもや自ら進んで本に親しむ子どもを育てるためには、保護者の皆様のご理解とご協力が必要です。

これからも家庭での読書環境を整え、読書活動の推進にご協力いただければ幸いです。

終わりになりますが、3月末の本校の閉校が近づいてきました。閉校に向けた事業への保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。



餅つき・カルタ大会

1月28日(日)、本校最後の「餅つき・カルタ大会」が開催されました。参加者は総勢40名で卒業生も応援に駆けつけてくれました。前日から、増幌子供会の方々が準備してくださり「お雑煮・チョコ餅・きな粉餅・あんこ餅・砂糖じょう油餅」と、子どもたちのリクエストメニューすべてを取り揃え、おいしくいただきました。午後からは、読み手名人の野坂修司さんをお招きしてカルタ(百人一首)大会。みなさん、4年ぶりとは思えぬような華麗な手さばき。取った札を持って大いに喜ぶ姿も見られ、大変盛り上がりました。地域・保護者・学校が協力して活動する「子育て連絡協議会」の重要性を改めて実感することのできた1日でした。



後期学校評価の結果

12月に、児童生徒・保護者・地域・教職員を対象に学校評価アンケートを行いました。お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。「保護者」「児童生徒」「教職員」のすべてで満点「4.0」が2項目あり、また、他の項目でも軒並み高い評価でした。少なくとも過去5年間の中で最高の結果となりました。

<子どもたち・保護者・教職員 の評価が満点(4.0)だった項目>

○先生方は子どもたちの気持ちや考えをきちんと聞いている。

○先生方は子どもたちが悪いことや間違ったことをきちんと指導している。

また、「先生方は子どもたちのために、いつも工夫しながら授業を進めている」の項目でも保護者から満点(4.0)の評価をしていただきました。以上の結果から、子どもたちに寄り添った指導にしっかり取り組んでいることを評価されたことに教職員一同、大変うれしく思っています。

閉校までわずかとなりましたが、子どもたちが次のステージでも充実した学校生活を送れるように、最後までご支援・ご協力のほど、よろしくお願いします。



日	曜日	学 校 行 事 等
1	木	中：合同体育
2	金	小：スキー授業
5	月	中：合同体育
6	火	小：スキー授業
7	水	合同役員会
8	木	授業参観・懇談会
9	金	小：スキー遠足(豊富)
12	月	振替休日(2/11分)
13	火	ALT 小：東小との交流
22	木	ALT 中：合同体育
23	木	天皇誕生日(祝日)
26	月	中：合同体育

入賞 おめでとう!!

宗谷管内児童生徒美術展

<稚内市教育委員会教育長賞>

題「真夜中に帰ってるきつね」

<準特選>

題「雪で遊ぶきつね」

<入 選>

題「春が来た桜参る」

第10回「心に残る給食の思い出」作文コンクール

<最終審査入選者(692人中11位)>

題「おいしい給食」